

アーカイブ Data Report NO. 26

(2020年7月22日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

文学者の研究活動を記録する

— 亀井俊介『米文学研究パーソナル学問史』オーラル・ヒストリーの記録 —

三宅茜巳 (岐阜女子大学)

概要 米文学及び米大衆文化研究の泰斗である亀井俊介氏をインフォーマントとしてオーラル・ヒストリーを記録した。亀井氏には多数の論文や著作がある。それらを読めば亀井氏の研究活動について知ることができる。しかしながら、亀井氏の研究に対する姿勢はどうだろうか。こうした著作物には表れてこない面もあるのではないだろうか。そこで、亀井氏本人から、長きにわたる研究生活について聞き取りを行った。その結果、作品に真摯に向き合い、作品を精読し、自分の精神と照らし合わせて、自分にとって wonder と思えるものを、わかりやすい言葉で伝えるという亀井氏の研究姿勢が明らかになった。記録したオーラル・ヒストリーは『亀井俊介オーラル・ヒストリー —戦後日本における一文学研究者の軌跡』(研究社、2017)として出版された。

キーワード 文学、研究活動、記録、オーラル・ヒストリー、デジタルアーカイブ

記録の視点

亀井氏は、米文学研究者であると同時に物書きでもある。大学等での講義や一般的な講演も多く行ってきた。が、氏の学問に対する姿勢としては著作に重きを置いてきた。こうしたことを踏まえ、インフォーマントである亀井氏と相談し、オーラル・ヒストリーの記録方針を以下のように定めた。

(1) 経年順による記録、(2) 著作物を中心テーマとした記録、(3) 人との関連をテーマとした記録

記録方法

オーラル・ヒストリーの記録は2012年から2014年まで3年間に計8回に分けて行った。

(1) **経年順による記録【2012年度】**: 先行例「American Studies in Japan Oral History Series」(東京大学アメリカ研究資料センター)にならい、経年順に3期にわけてオーラル・ヒストリーを記録した。記録はすべて岐阜女子大学文化情報研究センターで行った。

第1期: 2012年8月6日・7日

内容: 少年期から大学就職まで: 誕生(昭和7年)から東京大学の専任講師になるまで(昭和38年)

インタビュアー: 藤岡伸子(名古屋工業大学大学院教授)、犬飼誠(元岐阜女子大学教授)

第2期: 2012年9月4日

内容: 東京大学時代(昭和38年から平成5年の退職まで)

インタビュアー：藤岡伸子、犬飼誠

第3期：2012年10月17日

内容：岐阜女子大学時代：東京大学退職後現在まで

インタビュアー：犬飼誠、三宅茜巳

(2) 著作物を中心テーマとした記録【2013年度】：著作物をテーマに、3期に分けてオーラル・ヒストリーを記録した。記録はすべて岐阜女子大学文化情報研究センターで行った。

第1期：2013年8月29日

内容：基本図書『サーカスが来た！アメリカ大衆文学覚書』（東京大学出版会、1976）

インタビュアー：日比野実紀子、黒田宏子、荻本邦子、桑原幸子、北川宏子、三宅茜巳

第2期：2013年11月23日

内容：基本図書『アメリカ文学史講義』全3巻（南雲堂1997-2000）

インタビュアー：ウェルズ恵子（立命館大学教授）

第3期：2014年3月19日

内容：基本図書『有島武郎－世間に対して真剣勝負をし続けて』（ミネルヴァ書房、ミネルヴァ評伝選、2013）[18]

インタビュアー：ウェルズ恵子

(3) 人との関連をテーマとした記録【2014年度】：亀井氏が強い影響を受けた人との関連をテーマに、2期に分けてオーラル・ヒストリーを記録した。記録はすべて岐阜女子大学文化情報研究センターで行った。

第1期：2014年9月16日

インタビュアー：平石貴樹（東京大学名誉教授）

第2期：2015年3月28日

インタビュアー：川本皓嗣（元大手前大学学長・東京大学名誉教授）

役立つ情報

オーラル・ヒストリーの記録に役立つ情報として以下の3点を指摘する。

①インタビュアーの役割の重要性：インフォーマントが提供する話に対して、のちの利用者（読者・視聴者）を意識しつつ、足りない部分、わかりづらい部分の解説をうまくインフォーマントより聞き出す技術・配慮が必要である。

②文字起こし担当者の課題：インフォーマントが提供する話の内容を理解していないと文字起こしが困難であるため、インタビューの現場に参加して話を聞きニュアンスを理解することが必要である。また、話の内容に関する基本的な知識と、わからないことは都度調査する力が必要である。

③何をどう記録するかという方針の決定：独りよがりな記録にならないよう事前にインフォーマントと十分に相談をして記録の方針を決定することが重要である。



亀井俊介氏

資料番号	k-0014	写真	kamei_times029
表題名称			
資料名	北海道大学北方資料室にて		
撮影年月日	1982年8月26日		
撮影時の年齢	50歳		
撮影場所	北海道大学北方資料室		
撮影時の所属・役職	東京大学助教授		
被写体	松沢弘博氏（北海道大学教授：左）、亀井（中央）、野沢氏（西沢書店編集部：右）		
撮影者	北海タイムス社	著作権者	
撮影日	1982年8月26日	北海道大学	北方資料室にて
撮影機材	北海道大学	北方資料室にて	北海タイムス社撮影
索引語	北海道大学、内村鑑三、キリスト教	説明	『内村鑑三全集』全40巻（西沢書店、1980-1984）の編集委員として、内村が札幌農業学校の学生時代に書いていた“Literary Notes”の調査に行った跡のもの。松沢氏はそのノートの最初の発見者。松沢氏と協力してその解説を進め、全集の第40巻に収録した。
提示種類	静止画		
所属場所	岐阜女子大学		
登録者	堀井悠采		
登録日	2012/12/05		

関連資料のメタデータイメージ